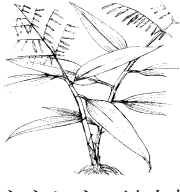


生薬解説 273 たー18

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
たー18	<p>たんちくよう 淡竹葉</p>  <p>ササクサの地上部</p>	<p>中医学生薬解説、参考・使用上の注意 および中医学以外の生薬解説・生薬学解説</p> <p>甘・淡、微寒 心・肺・小腸</p> <p>6～12g、煎服。</p> <p>中医生薬解説</p> <p>利水通淋 心熱が小腸に移ったことによる焦燥、不眠。口内炎および排尿痛、排尿困難などの症候に、生地黄・木通・灯心草・車前子などと用いる「導赤散」。</p> <p>清心除煩 心熱の焦燥、不眠や小児の夜泣きなどに、釣藤鈎・薄荷・灯心草などと用いる。</p> <p>参考 淡竹葉・竹葉はほぼ同じ効果を持つが、竹葉は清心除煩にすぐれ、淡竹葉は利水にすぐれている。 なお、明代以前の淡竹葉はハチクであるので、注意が必要である。</p> <p>使用上の注意 長時間煎じてはならない。 妊婦には慎重を要する。</p>	